

(19) JAPANESE PATENT OFFICE (JP)
 (12) UTILITY MODEL GAZETTE (U)
 (11) KOKAI UTILITY MODEL NO. HEI 4[1992]-7456

Publication Date: January 23, 1992

(51) Int. Cl.⁵: B65D 61/00

81/02

85/48

Sequence Nos. for Office Use: 9028-3E

9028-3E

9028-3E

7191-3E

8921-3E

Examination request: Not requested

No. of Inventions: 1

(54) STRUCTURE OF PACKAGE FOR PLATE GLASS

(21) Application No.: Hei 2[1990]-47858

(22) Application Date: May 7, 1990

(72) Inventor: Tsuyoshi Morotomi

481-2 Sakemi, Oaza, Okawa-shi, Fukuoka-ken

(Yugenmaisha Sakemi Glass)

(72) Inventor: Hidenori Sakemi

481-2 Sakemi, Oaza, Okawa-shi, Fukuoka-ken

(Yugenmaisha Sakemi Glass)

(71) Applicant: Yugenkaisha Sakemi Glass

481-2 Sakemi, Oaza, Okawa-shi, Fukuoka-ken

(74) Agent: Katsuhiko Kajiwara, patent attorney

* * *

CLAIMS

The structure of package (1) for plate glass made in several layers, characterized by containing protective sheet (2) located between the layers of plate glass, protective board (4) that is rigid and located on both sides of the layers of plate glass in the plate thickness direction,

cushion sheet (5) located between the protective board and the above-mentioned sides of plate glass, protective frame (6) that is rigid and surrounds the above-mentioned several layers of plate glass, buffer material (7) located between the protective frame and the circumference of the above-mentioned several layers of plate glass, band (9) placed around the above-mentioned protective frame and protective board, and outside box (11) used for packing all of the above-mentioned parts.

* * *

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-7456

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)1月23日

B 65 D 61/00

B 9028-3E

C 9028-3E

E 9028-3E

7191-3E

8921-3E

81/02
85/48

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 板ガラスの梱包構造

⑯ 実 願 平2-47858

⑰ 出 願 平2(1990)5月7日

⑱ 考 案 者 諸 富 強 福岡県大川市大字酒見481-2 有限会社サケミ硝子内

⑲ 考 案 者 酒 見 英 穂 福岡県大川市大字酒見481-2 有限会社サケミ硝子内

⑳ 出 願 人 有限会社サケミ硝子 福岡県大川市大字酒見481-2

㉑ 代 理 人 弁理士 梶原 克彦

㉒ 実用新案登録請求の範囲

積層状態にある複数枚の板ガラスの梱包構造であつて、

積層状態にある複数枚の板ガラス1と；

該板ガラスの間に介在されている保護シート2と；

前記積層状態にある板ガラスを板厚方向両側から挟んで配置してある、剛性を有する保護板4と；

該保護板と前記両側の板ガラスの間に介在してある衝撃吸収シート5と；

前記積層状態にある複数枚の板ガラスの周縁部に配置してある、剛性を有する保護枠6と；

該保護枠と前記積層状態にある複数枚の板ガラスの周縁部の間に介在している緩衝部材7と；

前記保護枠及び保護板の上から回し掛けられている緊締バンド8と；

前記各構成部品全体を梱包している外箱11と；

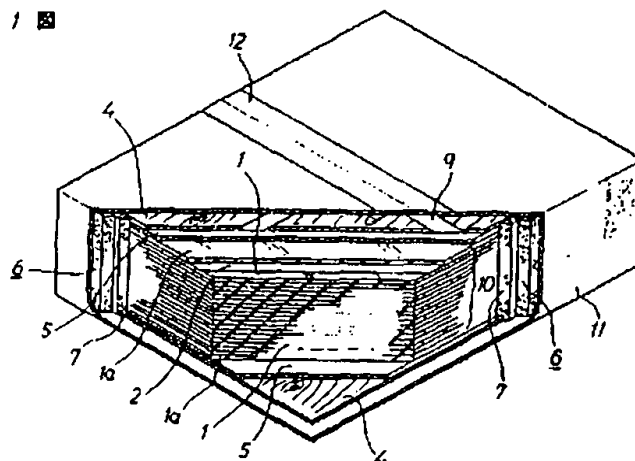
を備えたことを特徴とする板ガラスの梱包構造。

図面の簡単な説明

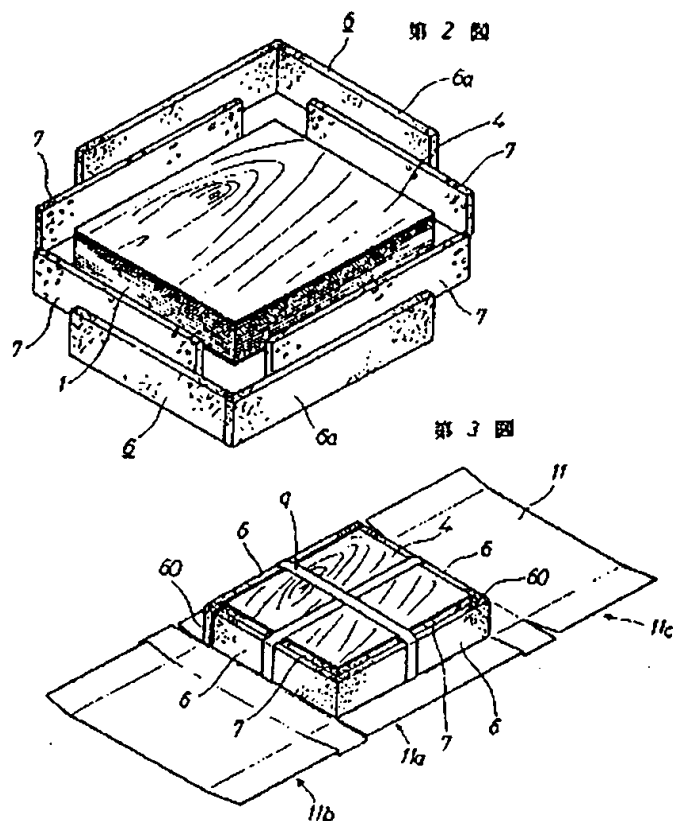
第1図は積層状態にある複数枚の板ガラスを梱包した状態の一部切欠斜視図、第2図は板ガラス、保護枠、緩衝部材の配置関係を示す説明図、第3図は外箱を展開した状態の斜視図である。

1……板ガラス、2……保護シート、4……保護板、5……衝撃吸収シート、6……保護枠、7……緩衝部材、8……緊締バンド、11……外箱。

第1図



実開 平4-7456(2)



公開実用平成 4-7456

⑨ 日本国特許庁 (J P)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U) 平 4-7456

⑫ Int. Cl. *

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成 4 年 (1992) 1 月 23 日

B 65 D 61/00

B 9028-3E
C 9028-3E
E 9028-3E
7191-3E
8921-3E

81/02
85/48

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑭ 考案の名称 板ガラスの梱包構造

⑮ 発 願 平 2-47858

⑯ 出 願 平 2 (1990) 5 月 7 日

⑰ 考 案 者 緒 富 強 福岡県大川市大字酒見481-2 有限会社サケミ硝子内
⑱ 考 案 者 酒 見 英 徳 福岡県大川市大字酒見481-2 有限会社サケミ硝子内
⑲ 出 願 人 有限会社サケミ硝子 福岡県大川市大字酒見481-2
⑳ 代 理 人 弁理士 梶原 克彦

送付用



明細書

1 . 考案の名称

板ガラスの梱包構造

2 . 実用新案登録請求の範囲

積層状態にある複数枚の板ガラスの梱包構造であって、

積層状態にある複数枚の板ガラス(1)と；

該板ガラスの間に介在されている保護シート(2)と；

前記積層状態にある板ガラスを板厚方向両側から挟んで配置してある、剛性を有する保護板(4)と；

該保護板と前記両側の板ガラスの間に介在してある衝撃吸収シート(5)と；

前記積層状態にある複数枚の板ガラスの周縁部に配置してある、剛性を有する保護枠(6)と；

該保護枠と前記積層状態にある複数枚の板ガラスの周縁部の間に介在している緩衝部材(7)と；

前記保護枠及び保護板の上から回し掛けられている緊締バンド(9)と；



前記各構成部品全体を梱包している外箱(11)
と：

を備えたことを特徴とする板ガラスの梱包構造。

3. 考案の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本考案は板ガラスの梱包構造に関し、更に詳しくはパチンコ台に使用する板ガラスを小ロットで運搬する場合に、板ガラスの破損を生じないか生じにくくした梱包構造に関する。

【従来技術とその課題点】

パチンコ遊戯台は、ガラスを装着したまま運搬すると衝撃で破損する場合がある。従ってメーカーからパチンコ店或は小売り店にパチンコ遊戯台を運搬する場合は、パチンコ遊戯台にガラスを装着しないで運搬し、ガラスはパチンコ店或は小売り店の近所のガラス屋から購入し装着していた。

この場合はパチンコ遊戯台のガラス装着部の形状に合わせて板ガラスを切断する必要があるが、パチンコ遊戯台の台数が多い場合であって急な新装開店の場合には間に合わない課題点がある。



本考案者は、パチンコ遊戯台に装着する板ガラスを予め準備し、この板ガラスをパチンコ遊戯台とは別に運送し、現場でパチンコ遊戯台に組み付けると前記課題点が解決できることに着目し本考案を完成するに至ったものである。

【考案の目的】

そこで本考案の目的は、板ガラスを運送するに当たって梱包された板ガラスが破損しないようにした板ガラスの梱包構造を提供するものである。

【考案の構成】

上記目的を達成する為に講じた考案の構成は次の通りである。即ち、本考案は積層状態にある複数枚の板ガラスの梱包構造であって、積層状態にある複数枚の板ガラスと；該板ガラスの間に介在されている保護シートと；前記積層状態にある板ガラスを板厚方向両側から挟んで配置してある、剛性を有する保護板と；該保護板と前記両側の板ガラスの間に介在してある衝撃吸収シートと；前記積層状態にある複数枚の板ガラスの周縁部に配置してある、剛性を有する保護枠と；該保護枠と

前記積層状態にある複数枚の板ガラスの周縁部の間に介在している緩衝部材と；前記保護枠及び保護板の上から回し掛けられている緊締バンドと；前記各構成部品全体を梱包している外箱と；を備えた板ガラスの梱包構造である。

【実施例】

本考案を図面に示した実施例に基づき更に詳細に説明する。第1図は積層状態にある複数枚の板ガラスを梱包した状態の一部切欠斜視図、第2図は板ガラス、保護枠、緩衝部材の配置関係を示す説明図、第3図は外箱を展開した状態の斜視図である。

符号1は板ガラスで、積層状態に複数枚重ねてある。板ガラス1の角部には面加工が施してあり、過って怪我をしたりすることを防止している。板ガラス1の間には、板ガラス1に傷が入らないようにする保護シート2である紙が介在されている。

4は剛性を有する保護板で、ベニヤ板を使用し、積層状態にある板ガラス10を板厚方向にあ



る両側の板ガラス1 a から挟んで配置してある。
保護板4と前記両側の板ガラス1 aの間には、衝
撃吸収シート5である段ボール板がそれぞれ介在
してある。

積層状態にある板ガラス1.0の周縁部には、剛
性を有する保護枠6が配置してある。保護枠6は
チップボードで作られており、「L」状に連結し
た一对の保護枠部材6 a からなっている。保護枠
部材6 a 両端の間のクリアランス6 0 (第3図)
を調整することによって板ガラス1の寸法が多少
変化してもその変化に対応できるようにしてあ
り、その為一番小さいサイズの板ガラスの寸法に
合わせてある。保護枠部材6 a は「L」状に連結
してあるので梱包作業時にばらばらにならず作業
し易い。また、パチンコ店側で板ガラスを在庫す
る場合も保護枠6がばらばらにならないので保管
し易い。

なお、後で説明するように保護枠部材6 a の上
から緊締バンド9を回し掛ける場合、クリアラン
ス6 0があった方が各構成部品全体が密着してま

公開実用平成 4-7456



とまり易い。保護枠 6 はチップボードを使用する代わりに他の素材、例えば積層板を使用することもできる。

7 は緩衝部材で、発泡スチロール板を使用しており、保護枠 6 と前記積層状態にある板ガラス 10 の周縁部の間に介在している。緩衝部材 7 は本実施例では第 2 図に示すようにばらばらであるが前記保護枠 6 に貼り付けることもできる。緩衝部材 7 は発泡スチロール板の代わりに他の素材、例えばゴム板を使用することもできる。そうして保護枠 6 及びベニヤ板 4 の上から緊締バンド 9 が十文字に回し掛けられて、全体をまとめ崩れないようにしている。その上から前記各構成部品全体は外箱であるダンボール箱 11 で梱包してある。ダンボール箱 11 は観音開き構造を採用しており、中央壁部 11 a に緊締バンド 9 で括った前記各構成部品全体を載置し、両側の扉壁部 11 b、11 c を中央部側に折り畳んでテープ 12 で封をしてある。この構造のダンボール箱 11 は梱包時間が短時間で済む効果がある。なお、保護シート

2、保護板4、衝撃吸収シート5は板ガラス1と略同じ大きさに形成している。

作 用

板ガラスを運搬するには立てて運ぶ。板ガラスで弱い箇所は角であるが、立てた場合には保護枠6に荷重がかかるため直接板ガラス1には荷重がかからず板ガラスの破損を防止できる。

なお、本考案は図示の実施例に限定されるものではなく、実用新案登録請求の範囲の記載内において数々の変形が可能である。

【考案の効果】

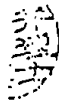
本考案は上記構成を有するので、運送中に外側から多少の衝撃が加わっても収容した板ガラスは破損しないか、最小限の破損で抑えることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は積層状態にある複数枚の板ガラスを梱包した状態の一部切欠斜視図、

第2図は板ガラス、保護枠、緩衝部材の配置関係を示す説明図、

公開実用平成 4-7456



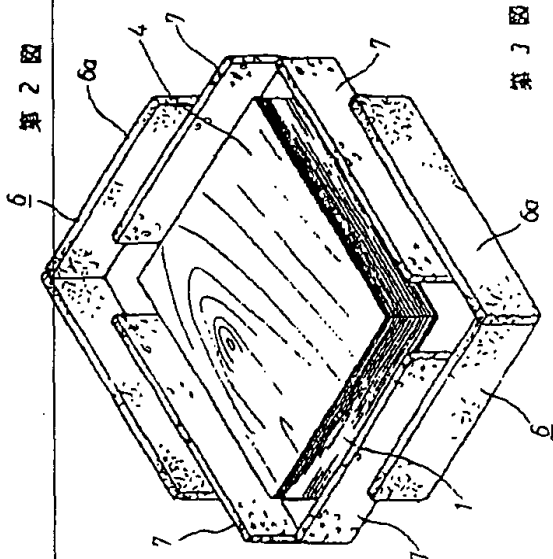
第3図は外箱を展開した状態の斜視図である。

- 1 : 板ガラス
- 2 : 保護シート
- 4 : 保護板
- 5 : 衝撃吸収シート
- 6 : 保護枠
- 7 : 緩衝部材
- 9 : 緊締バンド
- 11 : 外箱

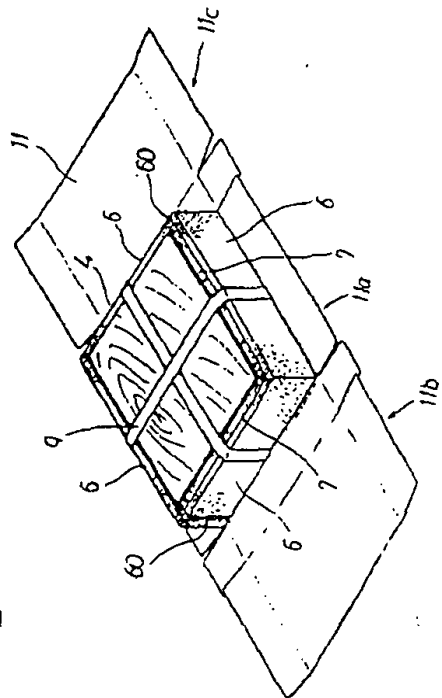
実用新案登録出願人 有限会社サケミ硝子

代理人 弁理士 梶原克彦

第 2 図



第 3 図



第 1 図

